

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	衛星画像を活用した航路監視体制の強化及び港湾施設の被災状況把握に関する検討業務
業務場所	国土技術政策総合研究所
業種種別	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和4年11月9日
履行期間（至）	令和5年3月31日
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所副所長 高野 誠紀 神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号
契約を締結した日	令和4年11月9日
契約の相手方の商号又は名称及び住所	(株) パスコ 事業統括本部
	営業部長 丸山 泰助
	東京都目黒区下目黒一丁目7番1号
随意契約によることとした会計法令の根拠条文	会計法第29条の3第4項、予算決算及び会計令第102条の4第3号
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、災害時における航路の保全及び港湾施設の被災状況把握を目的として、衛星画像を活用した海上漂流物等（以下、「漂流物」という。）及び港湾施設の変状の把握手法に関する検討を行い、被災状況把握における衛星画像の利用方策をとりまとめることを目的とする。</p> <p>本業務の実施にあたっては、衛星画像を活用した航路監視体制の強化に向けた検討、港湾施設の被災状況把握に関する検討など広範かつ最新の知見、光学衛星画像及び合成開口レーダー衛星画像において、漂流物の判別方法について技術的な専門知識に加え、港湾施設の被災状況把握における合成開口レーダー衛星画像の利活用方策について柔軟な発想力・企画力が必要であり、これらが業務の成果に密接に関係することから、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式に準ずる方式により公募を行った。</p> <p>その結果、入札説明書を交付した25者のうち、業務実地条件を満たし技術提案を行った唯一の法人であり、また業務実績、技術提案書の内容等を総合的に評価した結果、上記法人には本業務を遂行する上で必要な能力が十分備わっていることが確認された。</p> <p>以上の理由から上記法人を選定し、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、随意契約するものである。</p>
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥49,192,000
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥49,170,000
落札率	99.96%
再就職の役員の数	

## プロポーザルの評価結果

- |                  |   |
|------------------|---|
| 1. 業務名           | 衛星画像を活用した航路監視体制の強化及び港湾施設の被災状況把握に関する検討業務 |
| 2. 特定した提案者       | 株式会社パスコ 事業統括本部                          |
| 3. 特定した提案者の住所    | 東京都目黒区下目黒一丁目7番1号                        |
| 4. 特定した提案者の代表者氏名 | 丸山 泰助                                   |
| 5. 特定日           | 令和 4年10月25日                             |

項 目	配点	株式会社パスコ 事業統括本部			
<b>1. 技術者資格</b>					
配置予定管理技術者の技術者資格等	5	5			
<b>2. 業務実績</b>					
同種又は類似業務の実績	5	5			
<b>3. 業務成績及び表彰</b>	10	4			
「配置予定管理技術者」の平成30年度から令和3年度末までに完了した、国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)、全地方整備局及び沖縄総合事務局(すべて港湾空港関係)発注の建設コンサルタント等業務において、管理技術者及び担当技術者として従事した業務の技術者評定点の平均点	5	4			
「配置予定管理技術者」の平成30年度から令和3年度までに完了した業務の技術者表彰の有無	5	0			
<b>4. 技術提案書の内容</b>	120	80.000			
1)実施方針・業務フロー	30	20.000			
2)特定テーマに関する技術提案	90	60.000			
特定テーマ1 光学衛星画像及び合成開口レーダー衛星画像における漂流物の判別方法について	45	30.000			
特定テーマ2 港湾施設の被災状況把握における合成開口レーダー衛星画像の利活用方策について	45	30.000			
<b>合 計</b> (小数点第3位以下切り捨て2位止め)	140	<b>94.00</b>			